

児童発達支援「キッズすてっぷさせば」評価結果

改善内容・改善目標

公表：令和4年12月12日

	チェック項目	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	・児童発達支援の方は程よいスペースや広さになっているかと感じます。
	2 職員の配置数は適切であるか	・個別支援サポートのようにサポートする場面は多くなってきますので、スタッフの人数にゆとりがあると良いと感じます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	・建物が2階となっている為、階段の昇降などは手を繋ぐ事や手すりを利用する事などは必要に感じます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	・利用した玩具の消毒や、部屋の消毒などはしっかり行うようにしています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	・支援内容、業務内容においては、PDCAサイクルを念頭におきながら、設定と振り返りを行うようにしています。記録などは今後の課題ではあります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	・ご意向はしっかりと受け止めていきながら、上司にも報告をしていき、改善に繋げていけると良いと感じます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	・公開していますが、ブログをのせるホームページと、自己評価表がのっているホームページが違う為、保護者様にもしっかりと周知していきたいと思っています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	・ご意向などはしっかりと聞きしていきながら、業務改善に繋がってきたいと思っています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	・研修の課題に合ったスタッフが参加するようにしています。、業務の中で取り組む際に参考になる研修などは、ズーム研修など全員参加しやすいという事もあり、全員で研修に参加をして資質向上を目指しています。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	・保護者様へニーズや課題などをお聞きしながら、事業所の課題とすり合わせながら計画を立てるようにしています。また、アセスメントにおいては、個別支援計画の根拠となるものとして、記録を取るようにしています。

適切な支援提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・アセスメントとしては全体的に捉えるものとなっている為、今後においては、個人の特性、意志やコミュニケーションの力、集団への適応力など、分かりやすいものにしていく方が良いのか、検討は必要に感じます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	・仲間作りを図っていく事においては、支援内容に組み込みながら進めるようにしています。家族支援におきましては、今後ご家族の方にとって、育ちや暮らしを安定させる事を基本において丁寧な支援ができるように、心がけていきたいと思えます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	・個別支援計画に沿って活動などの経験ができるようにしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	・活動の週案については、担当スタッフが主になって、活動プログラムを作成しています。この方法を今後も取り入れていきながら、チーム力にも繋げていけたらと感じます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	・活動など固定化しないように、活動立案の時には担当スタッフが主になって工夫しながら進めていけるようにしています。ミーティングの場でも、良い案などはメモをとりながら、進めていくようにしています。現在では、子ども達からの提案もあり、取り入れながら楽しめるようにしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	・状況に応じて取り組めるようにしています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・朝礼、昼礼を主に現在も取り組んでいます。朝の打ち合わせでは、昨日の振り返りをしっかりと行っています。役割分担などは最終的に昼礼で確認をとるようにしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	・大まかな内容においては、全員で把握していきながら、翌日話し合いの場を設けるようにしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	・記録においては、昨年見直していきながら、働きかけなども分かりやすいように記入していくようにしています。後に振り返った時に、行動などが分かりやすくなったように感じます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	・必要な時期にモニタリングを行っていき、個別支援計画に繋げていくようにしています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	今年度は、経験のあるスタッフにも参加してもらいながら、進めてきました。今後においても経験があるスタッフの参加ができる状況になっていくと良いと感じます。

関係機関や保護者との連携

22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	・しっかりと行えていないのが現状です。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	・現在は対象の方はおられないです。他の事業所の方が、どのように医療ケア児の子どもさんの受け入れをしているか知る機会があると良いと感じます。
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	・現在は対象の方はおられないです。他の事業所の方が、どのように医療ケア児の子どもさんの受け入れをしているか知る機会があると良いと感じます。
25	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	・しっかりと行えていないのが現状です。機会を作りながら、様子などを共有しながら、どのような支援を行っているか、今年度は話合う予定となっております。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	・今後対象の方がおられたら、様子などをお伝えしながら、話し合う場を設けていけると良いと感じます。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	・なかなか連携を取れていないのが現状ですが、研修などは受けるようにしています。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・今年度はなかなか機会がなかったです。今後、交流する場があると良いと感じます。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	・現状は参加できていない状況です。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	・送迎の場面では伝える事は十分でないと感じますので、モニタリングの時期や、必要に応じてご連絡をしながら、様子などを共有していきけるようにしていきたいと思います。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	・ペアトレに関しましては、しっかりと研修を受けていない為、今後において検討していきたいと思います。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	・ご利用が開始となる前にご説明する場を設けています。

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	・個別支援計画の作成後は、保護者様にもご説明をして、了承を得てからサインを頂くようにしています。また、ニーズを事業所の課題をすり合わせながら進めて行くように心がけています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・じっくりと話をお聞きする場は設けていない為、保護者様からの声に応じまして、対応していきたいと思っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	・コロナ禍の現在では、どのように父兄の場を作っていくのかは課題であります。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・今後しっかり対応していけたらと思います。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・おたよりなどは、2～3ヶ月おきに配布できるようにしています。また、ホームページで活動などの様子などをお知らせしてしてます。連絡体制などは、ライン等活用するようになりました。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	・個人情報などの同意書を、保護者様、従業員なども結んでもらうようにしています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・必要に応じて視覚的に分かりやすいようにしています。聴覚に障害のある子どもさんに対して、意思疎通の回り方などは、今後も課題であります。気持ちなど理解していきながら、安心してご利用して頂く事に繋がってけると良いと感じます。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	・現在は行っていません。	
	非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	・感染症のマニュアルや研修などは事業所の中でも行って行く予定です。緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルにおいては、確認致します。
		42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・避難訓練を年に2～3回行っていきます。今年度におきましては、消防設備点検などもしてもらいました。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	・ご利用開始の前にアセスメントを行いながら、状況を把握できるようにしています。また、その都度変更などある場合は、保護者様からご連絡を頂いております。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・現在は対象の方はおられないです。	

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・記録として残すようにしています。振り返りも今後は取り入れながら、気をつけていきたいと思います。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	・研修は、事業所内、事業所外で参加するようになっています。今年度からは委員会として動き始め、事業所全体で周知していけたら良いと感じます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	・現在は対象の方はおられないですが、身体拘束の研修においても、今年度から取りいれながら、スタッフ間で周知できるようにしていきたいと思います。